



今日は、本郷小リクエスト献立

さつまいもごはん、牛乳、鮭の西京焼き、りっちゃんサラダ、豚汁、マスカットゼリー ~なかなかシブい…

ちなみに明日は、**十三夜献立** ごはん、牛乳、スタミナ焼き肉、お月見汁、フルーツ白玉 お楽しみに！



どんな勉強しているのかな？

前回お伝えしたように、学習指導要領は約10年ごとに改訂されています。子供たちが生きていく10年先の社会を予想して、これからの社会を生きる子供たちにどんな力がついでいけばよいのか、どんな力が必要とされるのかを考えて作られています。

これからの社会が情報化や技術革新、グローバル化等により予測を超えて加速度的に進展することが予想される中、学校教育には、子供たちに、このような変化の激しい社会を生きるために必要である『生きる力』を育成することが求められています。

学習指導要領では、「子供たちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して問題を解決していくこと」などがあげられていて、日々の授業での学びを通して、この『生きる力』を一人一人の子供たちに確実に育成することを目指しています。「生きる力」とは、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」の知徳体のバランスのとれた力をいいます。右上図)

確かな学力
基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現することにより、様々な問題に積極的に対応し、解決する力

生きる力

豊かな人間性

自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性

健康・体力

たくましく生きるための健康や体力

「文部科学省 現行学習指導要領・生きる力」より引用

新しい時代を生きる子供たちに必要な力は、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力など」「学びに向かう力、人間性など」の三つの柱に整理されました。(右下図)

また、新たに取り組むことやこれからも重視することとして「プログラミング教育」「外国語教育」「道徳教育」「言語能力の育成」などが示されています。

さらに、このように「何ができるようになるか」、「何を学ぶか」だけでなく、『主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)』の視点から「どのように学ぶか」も重視して授業を改善することになりました。これは、動き回るような授業スタイルのことではなく、子供たちの頭の中が「アクティブ」に働くような授業のことを指しています。これらを踏まえて、どんな授業にしていくのか? 次のようなモデルが示されています。

- 一つ一つの知識がつながり、「分かった!」「おもしろい!」と思える授業
- 見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業
- 周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業
- 自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業

本校では、これらを念頭に置いて授業づくりを進めています。それについては次号でお伝えします。



